

鏡池だより

第19号  
平成26年  
(2014年)  
4月・5月  
・6月号  
発行：編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大

～仏かねて  
しろしめして～

先日、他府県に勤務している息子が久しぶりに帰宅した。  
帰宅するや否や、胸の痛みを訴え、近所の医院に行ったが、風邪薬を処方されただけで、間もなく帰ってきた。夕刻になっても胸の痛みが治まらず、再度レントゲン診断を受けたが、「原因不明」との医師からの説明。ますます不安になりながら、近郊では一番規模の大きい病院へ直行したが、そこでも同じことを言われた。  
翌朝、「痛くて眠れなかった」との息子の一言に、「大規模病院で徹底的に検査をしよう」と決意した。京都第二赤十字病院で半日検査の結果“感染性心筋炎”と診断された。聞き覚えのない病名に戸惑っている間も

なく、「風邪の菌が心臓に感染している症状です。これで亡くなる人が多いんです。すぐに入院してください」と医師の指示を受けた。

入院というアクシデントではありながら、私にとっては安堵の思いであった。なぜなら、病名が診断されたということは、原因が判明し、治療ができることであるからだ。蛇足ながら、約二週間後、息子は職場の皆さんに支えられながら勤務に戻ることができたことも付け加えさせていただく。

宗祖は、如来から言い当てられた診断を「仏かねてしろしめして、煩惱具足の凡夫とおおせられたることなれば」（『歎異抄』第九条）と御述懐された。またそのように如来から診断を賜りながらも、「他人事としか聞こえない私」に、蓮如上人は、「無明業障のおそろしきやまい」（『御文』五帖目十二通）と言い当てられている。

宗祖は、凡夫が救われていく道を自ら歩まれた。しながら、私自身が如来から賜った診断である「凡夫」としての私に領けず、不安でウロウロと彷徨っている。この事実を、息子の入院を通して知らされたことであつた。

～四く六月の法座案内～  
宗祖を訪ねて

○四月三日（木）十四時～ 輪番  
○六月三日（火）十四時～ 輪番

味読正信偈

○四月十三日（日）九時半～ 輪番  
○五月十三日（火）九時半～ 輪番  
○六月十三日（金）九時半～ 輪番

定例法話

○四月二十三日（水）九時半～  
山城第一組 瑞蓮寺 住職 浅井仁麿 師  
○五月二十三日（金）九時半～  
山城第一組 圓龍寺 住職 佐々木淳 師  
○六月二十三日（月）九時半～  
山城第一組 養蓮寺副住職 本多 真 師

蓮華の集い

○六月二十一日（土）十時～  
大谷大学名誉教授 佐賀枝 夏文 師

自坊での結婚式のお手伝いをいたします

昨年十一月九日、山城第二組唯明寺において輪番の司婚、列座の司会で結婚式のお手伝いをしました。

別院近くのお寺で仏前結婚式をお考えの方がおられましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

お寺での仏前結婚式  
於：山城第二組 唯明寺



宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派（東本願寺）  
岡崎別院

〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町 26番地

電話・FAX 075-771-2921

http://okazakibetsuin.com  
info@okazakibetsuin.com

《聖跡参詣研修のご案内》

今年の五月七～九日の二泊三日で下記の日程にて越後の聖跡への参詣を予定しております。お問い合わせについては、お早めに別院まで電話または、メールにてご連絡下さい。

| 月日                                                              | 行               | 程                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月(水) 7日                                                        | 8:00 岡崎別院前      | 8:30 京都東ic 11:30 加賀ic 11:40 12:40 加賀市内(ご昼食) 15:50 名立谷浜ic 16:10 16:20 居多ヶ浜 16:30 竹之内草庵跡 16:50 赤倉温泉(泊) 17:40頃                                    |
| 5月(木) 8日                                                        | 7:00 (ホテルにてお朝事) | 8:30 ホテル 9:10 釜しの里記念館 9:50 10:30 11:20 光源寺 11:30 12:20 上越市内(ご昼食) 12:30 上越ic 14:20 14:40 新津ic 15:30 15:40 16:20 16:50頃 水原・無為信寺 藤瀬 月岡温泉(泊)       |
| 5月(金) 9日                                                        | 8:00 お宿         | 8:40 9:30 孝順寺 9:40 安田ic 10:40 10:50 長岡ic 新潟県立歴史博物館(関越となまの大地展) 11:50 12:30 米山ic 12:40 13:30 13:40 柏崎市内(ご昼食) 13:40 米山ic 20:20 京都東ic 20:40頃 岡崎別院前 |
| 凡 例：J R 〓 貸切バス 〓 徒歩…… 飛行機→ 船~~~~ 私鉄+++ インターチェンジ(ic) 宿泊(泊) 休憩(休) |                 |                                                                                                                                                |

## 〈分陀利華〉

「灯台本（もと）くらし」の現実のなかで

以前「あなたにとってお寺とはどのようなところですか？」というアンケートをしたことがあった。

アンケート回答の一位は「日常生活からかけ離れたところ」、二位は「葬儀や法事を行うところ」、三位は、「仏法を聞くところ」であった。

私なら「仏法を聞くところ」と回答していただろう。しかしながら、ある参加者は「私にとってお寺とはハツとさせられるところですよ」と回答された。この回答に「ハツとさせられた」のは、私の方であった。

「仏法を聞く」ということは、身が働くことであって、頭をよるこぼすことではない。」と和田稔（しげし）氏は言っている。「お寺はハツとさせられるところですよ」と言い得たご門徒は、仏法を我身で飲ばれ、生きる力としているに違いない。身がお寺にありながら、感動のない、慣例化した毎を送り、仏法を聞いていても「一向に生きる力にも、喜びにもなっていない」私の現実を、一人のご門徒から教えていただいた。

蓮如上人は、『とおきはちかき道理、ちかきとはおき道理なり「灯台本（もと）くらし」』と述懐されている。この御述懐は、観念の闇のなかで、自分が一番仏法の近くにいたいと思ひ込んでいた私に、「お前が一番仏法から遠い存在である」と言い当てられている。

## 花まつり・子ども会開催のご案内

四月六日午後一時より、左記の内容で「花まつり・子ども会」を実施いたします。ご参加をお待ちしております。

開催日：2014（平成26）年4月6日（日）

12時30分～  
午後1時～

受付開始  
勤行

於：本堂  
於：本堂前  
雨天時は本堂内  
於：本堂前  
雨天時は本堂内

午後1時15分～

灌仏

（お子さんによって誕生仏に甘茶をかける）

甘茶にて乾杯

お話し・パルーンアート

於：本堂

午後2時～

お餅つき

於：御殿前

午後2時30分～

みなさんでお餅を頂きます

於：書院

午後3時30分～

※参加費はひと家族につき、¥500です（当日受付にて、お納めください）



象は仏教と縁が深く、釈尊は白い象の姿になって、母摩耶夫人（マヤフニン）の胎内に入り誕生されたという。



当日は、子供さんが誕生仏に甘茶をかけます。

## 〈別院往来〉本堂すす払い

### 結婚式

十一月九日 挙式

（於…唯明寺）

亀田 和花さん  
中河 佑将さん



一月二十六日 挙式

山本 絵理さん  
浅山 慧学さん



去る十二月二十一日、本堂すす払い・別院大掃除が行われた。別院門徒や三日講員から二十六名の参加があり、本堂外陣の畳の煤払いと御殿、書院の掃除とに分かれて行った。その後、隣のホテルで入浴し、夜には忘年会が行われた。

## 直道会 学習会

去る二月二十日、大谷大学副学長の水島見一先生による直道



会学習会が行われ、大谷大学の水島先生が熱心に講話を聴いていました。

## 三日講新年会 茶道教室 初釜

去る一月十三日、三日講員二十七名の参加による毎年恒例の「三日講新年会」が開催された。



恒例の「三日講新年会」が開催され、例年通り新年会が盛り上がった。お餅つきや談笑が行われ、楽しいひとときを過ごした。



去る一月十一日に当院の茶道教室による初釜が行われた。当日は十数名の生徒の皆さんにより新年最初の初釜が華やかに開かれた。

## 蓮華の集い

二月二十二日真宗大谷派大谷婦人会岡崎別院支部「蓮華の集い」の第四回目が開催された。前大谷中高等学校校長の真城義麿先生が「『いい子』『いい親』でなくても大丈夫」という講話で話された。茶話会では、子育て中のお母さん方が、子育てにおける悩み



講義



茶話会



託児所

などを真城先生に相談していた。「昨年の二月より真城先生から始まり、今回で五回目を迎え、皆様のおかげで無事に一年目を終えられたこととございます」と輪番は感謝を述べている。次回は六月二十一日（土）午前十時より、講師大谷大学名誉教授佐賀枝夏文先生の予定。